

緑化樹の配付事業

「登山者の憩いの場所になることをめざして」

活動主体：阿武山グリーンクラブ／場所：京都大学 阿武山観測所構内（高槻市）



阿武山グリーンクラブは、地震研究を行う阿武山観測所の、広大な自然環境の保全・整備活動を行うボランティア団体です。平均年齢 76 歳を超えるメンバーが、週 1 日、剪定や除草、遊歩道の維持管理などを行っています。

阿武山観測所は、標高 281m の「阿武山」山頂から南へのびる尾根の突端頂部、通称「美人山」の山頂付近にあります。創設 90 年を迎える観測所は一般公開されており、2,000 人を超える見学者と多くの登山者が、みどりや大阪平野の眺望を楽しむために訪れるそうです。



樹木の老化や台風が原因の倒木が増えたことから、本事業を活用されました。遊歩道沿いだけでなく、手づくりの庭やベンチから観賞できるように工夫された植樹には、訪れる人から「大変綺麗になった」との声をいただくことも多く、大好評だそうです。

クラブの代表が、「登山者の憩いの場になればと活動を始めて 10 年目になり、メンバー自身の身体を動かす楽しみにもなっている。今後も、本事業を活用しながら、植樹活動を続けていきたい。まだまだ夢はいっぱいある。」といきいきとお話される姿が印象的でした。

「地域のひとが集えるような居心地の良い場所へ」

活動主体：たんぼぼの丘／場所：たんぼぼの丘（大阪狭山市）

たんぼぼの丘では、障がいのあるなしに関わらず、誰もが自立した日常生活、社会生活を営む事ができるよう、支援を行っています。

今回、利用者みなさんで汗を流しながら植樹活動を行った際には、利用者さんの達成感に満ち溢れた表情が印象的だったそうです。

樹木の維持管理についても、利用者さんと一緒に行っており、同団体の代表理事は、「樹木の生育はすぐに結果が出るものではない。樹木の維持管理を通して、成長する過程や、季節によって移り変わる様子を見ることの大切さを感じることができれば嬉しい。」とおっしゃっていました。

また今後については、本事業を活用しながら、木陰に地域の人が集えるような居場所を作りたいとの思いがありました。

今後ますます素敵な集いの場になるのが楽しみです。



緑化樹の配付事業

「市民から親しまれる桜と紅葉の名所になってほしい」

活動主体：私市区／場所：私市ハイキングコース 獅子寺仁王門跡前（交野市）



私市区は、明治の市町村制施工前の私市村の流れを汲む交野市の一区で、市行政と地域住民の橋渡しとなる業務を行うとともに、私市財産区と共同で旧私市村エリア（大字私市エリア）の地域活動の支援を行っています。

私市の山々には、四季を通じて多くのハイカーが訪れるハイキングコースが整備されていますが、2018年の台風により、樹齢100年近くの多数の針葉樹が倒れるなど甚大な被害が発生しました。そこで、「地域住民の皆さんに親しみをもってもらいたい」、「桜と紅葉の名所にしていきたい」という想いから、本事業を活用した植樹活動が実施されました。

植樹活動では、老若男女問わず120名ほどが参加され、苗木とともに、参加者の思いや抱負などが記されたメッセージプレートが添えられました。参加者の皆さんにとって良い思い出になったと思われます。

私市区長は、「本事業を通して、地域の方々の緑化に対する想いの深さを再認識しました。また、「大阪府みどりの基金」による苗木の配付がなければ実現しなかった取組みであり、今回、予想以上の成果を得ることが出来たので、今後も引き続き地域住民による植樹活動を続けていきたい」とおっしゃっていました。



「緑化活動を次世代につなげていきたい」

活動主体：下池田東町会／場所：岸和田下池田住宅（岸和田市）

岸和田下池田住宅は、久米田駅近くに位置しています。高層団地への建て替えを機に、新しく入居してくる方も増え、今では幅広い世代が入居されています。

敷地内にはすでに様々な樹木が植えられていましたが、台風の被害等で倒木したこともあり、今回の植栽を計画されました。

植樹の際は、粘土質の土へ穴を掘るのに非常に苦労したものの、みんなで協力し、知恵を出し合いながら植樹することができ、とてもいい経験になったとのことでした。

大変な思いをして植樹したこともあり、ハナミズキやサザンカなど樹木に綺麗な花が咲いたときはホッとされたそうです。

自治会長さんは「近所の方が立ち止まって花を見る機会が増え、そこから会話も生まれています。5年先10年先、どれだけ大きくなるのか楽しみです。

みんなで協力しながら、次世代まで続けていきたい。」とおっしゃっていました。

